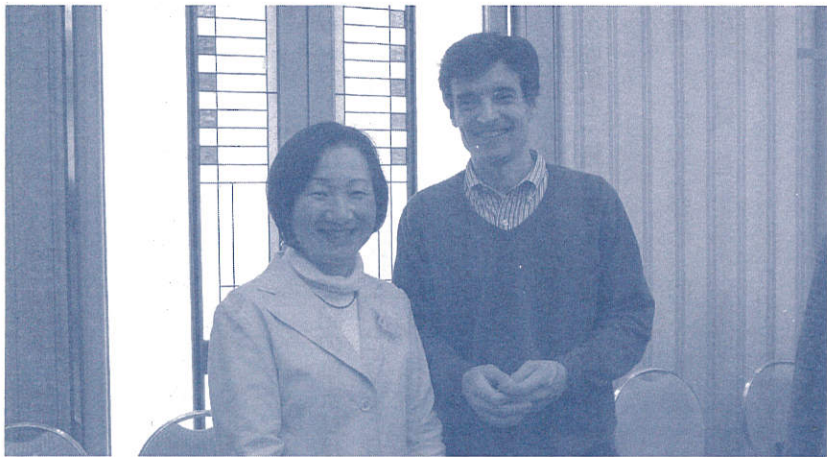


1月30日、東京・生活者ネットワーク「2013年新春の集い」が、中野サンブラザを会場に開催された。第1部基調講演では、「福は内! プルトニウムは外!」と題して、アメリカ生まれの詩人、アーサー・ピナードさんが登壇。戦争の世紀が、軍産体制が生み出した原子力と核開発の核心を、原発が廃絶されなければならないわけを、わかりやすく論説。続く第2部では、今年6月に迫った東京都議選候補者、および3月に実施される小金井市議選候補者が登壇、内外の参加者を前に、東京を市民が自治する生活都市に変えるために議席を勝ち取る決意表明を、力強く行った。

東京・生活者ネットワーク政策委員
〔練馬区〕

●やない克子^{かつこ}



東京・生活者ネットワーク政策委員、練馬・生活者ネットワーク担当のやない克子とアーサー・ピナードさん

生活と政治をつなぐ情報紙

生活者通信

東京・生活者ネットワーク

No.258

2013.3.1

※毎月1回1日発行
※1994年5月23日第三種郵便物認可

■発行 東京・生活者ネットワーク
■〒160-0021
東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル5階
TEL03-3200-9189 FAX03-3200-9274
■Eメール tokyo@seikatsusha.net
■ホームページ <http://www.seikatsusha.net>
■発行責任者 西崎光子
■定価 年間1000円・1部100円
■郵便振替口座 00130-3-18417

国 2013年度予算審議。

都 「東京都消費生活基本計画の改定」「東京都食品衛生監視指導計画」「東京都保健医療計画（第五次改定）」「東京都がん対策推進計画（第一次改定）」「東京都健康推進プラン21（第二次）」「東京都スポーツ推進計画」策定。

ネット ●多摩 3.11フクシマを忘れない
原発のない未来をアクションin TAMA2013 3月10日(日) 12:30多摩中央公園～多摩センター駅～13:30永山北公園～聖蹟桜ヶ丘駅 主催:実行委員会
●中野 創エネ講座 地域エネルギー事業と電力システム改革 3月16日(土) 14:00～スマイルなかの 講師:竹村英明さん 主催:中野・環境市民の会
●練馬 映画上映会「happy-しあわせを探すあなたへ」 3月16日(土)開場18:30 上映19:00～20:30練馬区立生涯学習センター(旧練馬公民館) 入場料1000円(高校生以下無料) 主催:練馬地域協議会
●八王子 はつらつタイム 3月22日(金)15:00～17:00 八王子・生活者ネットワーク事務所
●小金井 市議会議員選挙投票日 3月24日(日) 小金井・生活者ネットワークは、田頭ゆう子(現職)、林とも子(新人)の二人を擁立
●大田 政治塾 工場生産される牛?食の裏側～「フード・インク」を見て考えよう 3月29日(金) 10:00～12:00 大田・生活者ネットワーク事務所
●大田 奈須りえ・きたざわ潤子区政報告会 3月31日(日)13:30～16:00 大田区立消費者生活センター

米国生まれの詩人が語る原子力・核問題の本質

東京・生活者ネットワーク「2013新春の集い」——基調講演から

「日本は次のリオのオリンピックには参加しないらしい!」「それとも、参加しても1つもメダルを取ろうもりはない!」

アーサー・ピナードさんの講演は、いきなりこんな投げかけから始まった。そういえばオリンピック招致を啓発するボスターのキャッチコピーは、ロンドンオリンピックを受けて「この感動を欠は、ニッポンで!」だ。確かに、多くの人は特段の疑問も抱かないでいる。

さらに、2020年のオリンピックは東京が選ばれるのでは、とも。3・11福島原発事故を契機に、世界中の人々が原発からの撤退を考え始めている。この動きを封殺するため、核・原子力問題に目がむけられる現状をリセットするために、東京オリンピック開催のシナリオが着々と進められているのではないかと、と。

言葉を返せ!
あきらめるな!
非暴力で社会を変えていこう

さて、この日の講演の主題は「福

*講演動画配信中 <http://www.youtube.com/watch?v=6pTf5293D4&feature=youtu.be>

「原子炉」の英語は「Nuclear reactor」。直訳すると「核反応装置」であるが、私たちは特段の疑問を抱かず「原子炉」と認識させられてきた。「核の平和利用」という言葉とともに、1950年代当時の復興の象徴である製鉄所の溶鉱炉の、あるいは暖炉・囲炉裏の「炉」を連想させる言葉をすんなり受け入れてしまったのではなかったか。気がつく、54基もの原発が建設されていた。日本が原発を維持してい

*アーサー・ピナード公式ブログ <http://www.web-nihongo.com/wn/haragonashi/12.html/>

「原発ゼロ」を訴えていかなければ、硬軟取り混ぜて巧みに演出される政治。アーサーさんが発したのは言葉の大切さ、それを吟味することの重要さ。それは、とりもなおさず「政治は言葉である」という生活者ネットへのエールであると銘じ、暮らし、生活者の課題を解決にむける政策集団の役割を果たす年としたい。

は内! プルトニウムは外!」地球の上のあらゆる生命体と相容れない核廃棄物が、プルトニウムが、無毒化する技術を持たないまま日々生み出されている。一握りの政治家と産業界のトップが、アメリカの言うがままに核の平和利用、原子力発電を推進してきた国が日本だ。ウラン採掘から濃縮に至る過程で要する資金は、そのままアメリカの核開発資金になる。アメリカは常に仮想敵国を想定し、軍事費に金を注ぎ込んできた。「鬼は外」と鬼を追いつくように、かつてはソ連、今は中国だろうか。

「100万のアメリカ兵の命を救うため、已む無し投下だった」という2発の原子爆弾。戦争を早期終結するためと言われてきたそれは、実は一部政府上層部が秘密裏に進めた核開発「マッハタン計画」に膨大な金をつぎ込んだことを隠蔽し、正当化するため。平和利用の名のもとに世界にばら撒かれた原発というシステムは、核兵器と同様、アメリカ軍産複合体への莫大な利益誘導のため。ヒロシマに投下された原爆を「ピカドン」と呼び、その悲惨さを訴えてきた広島市の「生活者」のように、生活者の言葉を使って「脱原発」を、「原発ゼロ」を訴えていかなければ、硬軟取り混ぜて巧みに演出される政治。アーサーさんが発したのは言葉の大切さ、それを吟味することの重要さ。それは、とりもなおさず「政治は言葉である」という生活者ネットへのエールであると銘じ、暮らし、生活者の課題を解決にむける政策集団の役割を果たす年としたい。

生活者とならう 市民が自治するまち・東京をつくろう

昨年の総選挙、東京都知事選挙を経て2013年の幕が明けた。国政では自民党が返り咲き、またぞろ土建型公共事業のばら撒きが復活。民主党政権が行ったすべてを否定することから国政運営がスタートしている。一方、今年は3.11以降初となる東京都議選が6月23日に、3月24日には小金井市議選が行われる。新春の集い第1部では、基調講演を受ける形で、6人の都議候補、2人の小金井市議候補が登壇。来る自治体議会選挙にむける決意を2013都議選選対長の西崎光子都議が表明した。——私たちが、地道に地域で積み上げてきた活動やローカル発・国政への提案、原発ゼロ政策…それらが後戻りされている。アーサー・ピナードさんは、「原発」の正体は「じりじり原爆」と表し、この本質を見抜

く重要さを語った。私たち都市生活者にとって、「原発問題は、他人事だったのではなかったか」と、改めて問われたのだと思う。度々の福島視察の折りに出会った、現実にそこで被曝している子どもたちや家族の今に想いを馳せると、被災地の再生と原発ゼロ政策の実現に、私たち都市生活者こそ力を尽くさねばならないのだと気持ちを新たにしたい。

一方、東京もまた、都市ならではの生活課題が山積している。430万もの票を集め、昨年誕生した猪瀬都政。石原都政の後継を自任する新知事には、しかし、少子高齢化が進行する東京問題が見えているだろうか? 石原・猪瀬と続く東京都政のもと、私たちの足元の生活は何も変わっていない。

必要なのは地域発、市民が参加する政治。電力も食も、エネルギーの一大消費地である東京・ローカルからこそ変えていく、地域の課題を一番よく知っている生活者ネットワークが変えていく、東京を市民が自治する生活都市に変えていきたいと思います。それぞれの地域ネットのメンバー

と、生活者ネットの53人の都・市・区議が力を合わせて、来る東京都議会議員選挙で、小金井市議選で必ずや、議席増を勝ち取ることから始めよう——

「福は内! プルトニウムは外!」



▲都議選候補予定者、左から西崎光子(世田谷・現職)、星ひろ子(昭島・現職)、やない克子(練馬・新人)、小松久子(杉並・新人)、奈須りえ(大田・新人)、山内れい子(国分寺/国立・現職)